

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年9月23日

事業所番号	2770103428	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	社会医療法人 ペガサス	所在地	大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム ポニー	評価調査日	平成 21 年 9 月 10 日
所在地	堺市南区御池台二丁目7番府住3棟301 電話 072-294-5551	評価確定日	平成 21 年 9 月 26 日

【情報提供票より】 (平成21年8月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成13年6月1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数 5人
職員数	12人常勤 2人 非常勤 8人 常勤換算 4, 6人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄筋コンクリート 5階建ての(1階301・302)
-------	------------------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(月)	11,240円	その他の経費	35,000円
敷金	無 ()		
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 93,720円 退去時に2/3返却		
食材料費	朝食	円	昼食
	夕食	円	おやつ
	または1月当たり 30,000円		

(4) 利用者の概要 (8月5日現在)

利用者人数	5名	男性	0名	女性	5名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 85才	最低	73才	最高	95才

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	馬場記念病院 嶋田クリニック 荒木クリニック 下井戸歯科
---------	---------------------------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

ホームは南区御池(みいけ)公園のすぐ横、府営住宅の1階に特設されたホームで、環境に恵まれており、又、設立後8年目で、職員は勤続4年以上の方が5名、入退職者も年に1名程度であり、利用者は、毎日、安定した楽しい生活を送っている。設立母体は、社会医療法人の馬場記念病院で、しっかりとした介護組織体制の中にある、グループホームです

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	管理者と計画作成者の指導の基に、利用者の毎日の生活の情報を職員が記録しているが、各職員は、勤務始めに欠かさず実施している申し継ぎについては、口頭と記録書により個人毎の情報を確認し、利用者に安心して頂ける介護を行っている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	職員の勤務が安定し、4年以上の方が5名となっているので、管理者の指導を受けながら、今回の自己評価票の各項目毎に、勤務の合間を縫って行われた。そして、この1年の介護目標を利用者、職員とで協議して上で定め、更に、今年の実践の理念として「友」を掲げているので、これを日々、念頭に置きながら、介護に当たっている
重点項目③	運営推進会議は2ヶ月毎に開催されており、民生委員さんから交流情報を頂いており、自治会もホームを視野に置いて活動して頂いている
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
重点項目④	今回のご家族アンケートや、年1回の家族会、運営推進会議でも特に苦情は頂いていない。毎月の発送文書には近況報告を記入し、それぞれの利用者の近況をお知らせしている
	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	ホーム開設当初から自治会活動に参加しているが、昨年度は管理者がホームのある棟の棟長を勤めさせて頂き、ご近所の方々とは懇意に付き合っている。但し、自治会の方々との、緊急時の対応についての話し合いまでには至っていないので、管理者は今後の重要案件としている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念 ・利用者に家庭的な環境で ・尊厳ある自立した生活を営み ・日常生活での、介護その他の必要な援助を行う		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の下、ホームでは毎年、正月に利用者と職員が一緒になって、今年の実践課題を考え、実行している。今年は「友」を掲げている		
2 地域との支えあい					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	ホームは設立当初から地元自治会に積極的に参加している。昨年は管理者が棟長を勤めさせて頂き、近隣との交流が行われた		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	少人数のホームなので職員は一体となって、日常生活の介護に当たっている。今年は前年の評価を参考としながら、職員と管理者が回を重ねて作成している		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月毎に開催されている。地元の委員の方が民生委員でもあり、何かと情報提供を頂き介護の向上に役立させて頂いている		
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	今年度は堺市の担当者のご指導もあり、グループホーム連絡会が開催され、又、市域全体の会合も開催され、情報交流も出来ている		
4 理念を実践するための体制					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	毎月の報告書に利用者の近況を短信でお知らせしている。「ホーム便り」も適宜に発行している。来訪時には、職員が近況説明を行っている		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年1回の家族会、運営推進会議には、ご家族代表者にも出席して頂き、ご意見を伺っている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の入退職者は年に1名程度で安定している。管理者は日頃から、職員との対話を重視し、職場の雰囲気にも配慮している。新入社員には訓練期間を設け、指導しながら利用者への影響を最少にするよう努めている		

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者、管理者は職員の教育を重視し、母体の社会医療法人の研修会も含め、内外の研修会出席を奨励している。		
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	堺市南区内のグループホーム連絡会が区役所で開催され、又、堺市全体の同連絡会も開催されているが、何れの会合にも出席し、介護向上に役立たせている		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者本人、ご家族からの話しをじっくりと伺うようにしている。無理強いせずに説明、体験入所も行っている		
--	-------	---	--	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は毎日の介護の中で、過去の経歴や、ご家族との関係等から聞き取った事項を個人毎に記録し、職員の共有のものとしている		
--	-------	--	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者が意思をうまく説明出来ない場合でも、日頃のかかわりの中で、本人の意思を汲み取っている		
--	-------	---	---	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状況の把握が積み重ねられており、ご家族、関係者とも話し合っ、介護の計画に反映させている		
--	-------	--	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3月毎の見直しはモニタリングと併用して、状態に大きな変化があれば、関係者、職員と相談して計画変更を行っている		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、ご家族の状況に応じて、施設として出来る範囲内の支援を行っている		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	主治医、ご家族と協議し、必要な治療を受けて頂けるよう支援している		
19	47	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、ご家族、主治医とは、体調の変化に合わせて、綿密な話し合いを行っている。又、職員も情報・方針を共有している		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	プライバシーの維持については、職員同士でチェックし合って改善に努めている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は、利用者の希望に出来る限り沿うように、配慮している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は、職員がメニューから担当しており、希望にも応じられるようにしている。又、利用者の中で、片付けが出来る方には手伝って頂いている	○	食品の取り合わせ、カロリー等の工夫を進めて欲しい

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<input type="checkbox"/> 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の基本は隔日となっている。時間帯について、体調等の状況変化には、ある程度、対処しているが、夜間の場合は、難しいのが現状である	

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<input type="checkbox"/> 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の生活歴、好み等はある程度、把握できていて、対応した役割、楽しみごとで過ごして頂けるよう支援している	
	25	61	<input type="checkbox"/> 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの希望にそって戸外に出かけられるよう支援している	住宅団地であり、御池公園がすぐ横にあるので、出来る範囲内で外出を楽しんで頂いている	

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<input type="checkbox"/> 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	5階建ての府営住宅団地であるため、色々な方々が居られるので、ご家族、団地役員とも話し合い、玄関の鍵掛を行っている	
	27	71	<input type="checkbox"/> 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホーム内だけで避難演習を実施している、自治会から災害時の要援護者リストを、ご家族の承諾を得て登録している	<input type="checkbox"/> 消防署と連携して、緊急時の避難のマニュアルの検討をして欲しい

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<input type="checkbox"/> 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食料摂取量は、医師の指示を頂いている、水分も含めて摂取量のチェックは行われている	
--	----	----	---	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<input type="checkbox"/> 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	団地の居間ながら、居心地の良いうように配慮されている。足元の段差にも対処している	<input type="checkbox"/> 洗面所付近の監視体制に、何か簡易な設備機器も含めて、何か方法はできないか、宿題として欲しい
	30	83	<input type="checkbox"/> 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室は夫々に、適宜、居心地良く過ごせるようにして居られる。又、室温等は職員がチェックしてる	